

## 株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日
期末配当金受領株主確定日	9月30日
中間配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年12月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連絡先 (お問い合わせ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777
公告方法	日本経済新聞に掲載する方法により行う

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 9869

いいかぶ

検索

空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝(図書カード500円)  
を進呈させていただきます

※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。  
(株式会社 a2media)についての詳細<http://www.a2media.co.jp>  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ  
「e-株主リサーチ事務局」  
TEL:03-5777-3900(平日10:00~17:30)  
MAIL:info@e-kabunushi.com

## 株主優待

9月末日(決算期末)現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上所有される株主さま1名につき、当社オリジナル製品「GREEN WOOD手造りジャム」1セットを贈呈いたします(12月初旬発送予定)。家庭でつくるように、果実を糖と果汁のみで煮詰めました。果肉たっぷり、当社が自信をもってお勧めする製品です。

### ●所有株式数100株以上

詰め合わせ例

- いちごジャム
- ブルーベリージャム
- オレンジマーマレード

(各330g)

※2,100円相当

※詰め合わせの内容は変更  
させていただく場合があります。



### ●所有株式数1,000株以上

- いちごジャム
- ブルーベリージャム

(各530g)

※3,080円相当



**KATO** 加藤産業株式会社  
流通を最適ソリューション  
証券コード: 9869

<http://www.katosangyo.co.jp/>

UD FONT 見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



# 第66期 報告書

平成23年10月1日から平成24年9月30日まで

トップメッセージ	1
連結決算概要	2
事業内容	3
事業別のトピックス	4
ニュース・クローズアップ	5
CSRへの取り組み	7
連結財務・業績ハイライト	9
連結財務諸表	11
個別財務諸表、株主アンケート結果	13
会社情報・株式情報	14

**KATO** 加藤産業株式会社  
証券コード: 9869



ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第66期における食品流通業界は、消費税率引き上げの決定及び穀物など原材料価格の高騰による商品価格の値上げ等、今後の生活への不安から防衛意識が一段と高まり、内食化傾向が継続する中で、企業間競争はますます激化し、引き続き厳しい経営環境で推移しました。

また、商品カテゴリーを横断した経営統合を中心に再編が進み、グループ間競争はますます激しくなっています。

こうした中において加藤産業グループは、卸売業としての基本機能である営業と物流が連携をとりながら総合力を発揮し、多くのお取引先さまの発展に向けて、一層お役に立てる徹底した「つなぎ」の行動を推進するとともに、皆さまの食生活の向上を通じて、企業としての社会的責任を果たしてまいり所存であります。

さらに、今後は海外事業を当社グループの成長戦略の一つと位置付け、今まで培ってきたビジネスモデルやノウハウを活かして事業を拡大し、より存在価値の高い企業を目指して一步一步進化を続けてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月



代表取締役社長 加藤 和弥

社 是

能力を啓発し機能を充実し  
 生販両層にとって最も価値  
 ある存在として周囲の人々の  
 生活を豊かに実らせ 其處に  
 社会性を有する企業として  
 永遠の発展を礎きあげる。

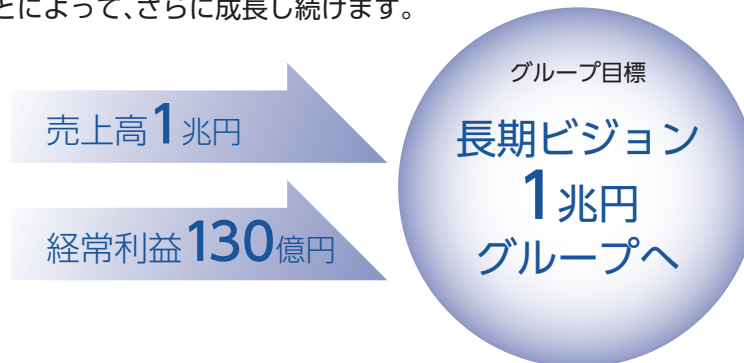
連結売上高 7,202億58百万円

第66期の加藤産業グループは、消費者ニーズに対応した商品の開発・品揃え等、提案型営業を積極的に推進し、小売業をはじめお取引先さまとの取り組みを一層強化するとともに、諸経費の抑制及び業務の生産性向上等による経営の効率化に努めてまいりました。

	前期比	来期(第67期)予想	前期比
売上高	2.5%増加	7,300億00百万円	1.4%増加
営業利益	3.9%増加	110億50百万円	0.3%減少
経常利益	5.2%増加	120億00百万円	1.3%減少
当期純利益	6.3%増加	67億00百万円	0.0%増加

長期ビジョンとその達成のために

私たち加藤産業グループでは、今の時代に最も求められる企業像「強くて優しい会社」の実現を目指し、具体的な施策を盛り込んだ中長期的な戦略を進めています。この計画の一つひとつを確実に遂行することによって、さらに成長し続けます。



2017年(創立70周年)までの早い時期に、独立した全国卸売業としての存在感を維持、アピールするための企業規模と収益を確立します。また、次代の成長を見据え、一層の機能強化を図る投資を継続する原資確保のため、経常利益130億円の達成を目指します。





常温流通事業 (常温ドライ、家庭用食品)

売上高 5,838億24百万円 前期比 2.8%増加

営業利益 95億44百万円 前期比 1.7%増加

低温流通事業 (チルド、冷凍、外食用食品)

売上高 804億24百万円 前期比 0.3%減少

営業利益 3億41百万円 前期比 9.1%増加

酒類流通事業

売上高 616億84百万円 前期比 3.9%増加

営業利益 5億05百万円 前期比 2.2%増加

当社グループの主力事業であります常温流通事業につきましては、昨年の東日本大震災による特需の反動及び小売業の業態を越えた競争激化の影響が見られました。そうした中で、多様化する消費需要に対応すべく、提案型営業を積極的に推進し、仕入先さまとも連携して主要得意先さまとの取り組みを一層強化するとともに、自社PB商品の拡売を図りました。

低温流通事業につきましては、消費者の内食化の進行により飲食店等外食向けの販売は厳しい状況で推移しましたが、家庭用チルド商材や惣菜を中心にお得意先さまとの取り組みを強化して拡売を図るとともに、物流コストをはじめ諸経費の抑制に努めました。

酒類流通事業につきましては、少子高齢化や若年層のアルコール離れに加え、下期に入り個人消費の失速感も重なり、酒類消費市場の縮小傾向が続いております。そのような中、一層の営業力の強化を図り、ノンアルコールビール、ハイボールあるいはカロリーオフ等の市場にマッチした商品群の拡売、また主要得意先さまとの取り組み強化を図りました。

※上記の売上高及び営業利益には、各事業間の内部取引を含めております。

## 海外事業の展開

### ●海外食品卸売事業に関する投資会社の設立

2012年10月に海外食品卸売事業会社の株式保有を目的とする投資会社として「加藤SCアジアインベストメント株式会社」を設立いたしました。

当社は、2007年に中国広東省最大の食品卸売業・広州華新商貿有限公司に、2009年には深圳華新創展商貿有限公司にそれぞれ出資するなど、経済成長に伴う消費の増大により、小売マーケットの拡大するアジア地域に注目してまいりました。

今般設立した加藤SCアジアインベストメント(株)は、海外事業の意思決定を迅速化し、今後の積極展開を目指すものであり、本事業の拡大を通じて、アジア諸国の食文化の向上に貢献してまいります。

#### 【加藤SCアジアインベストメント(株)の概要】

所在地：兵庫県西宮市

資本金：2億円

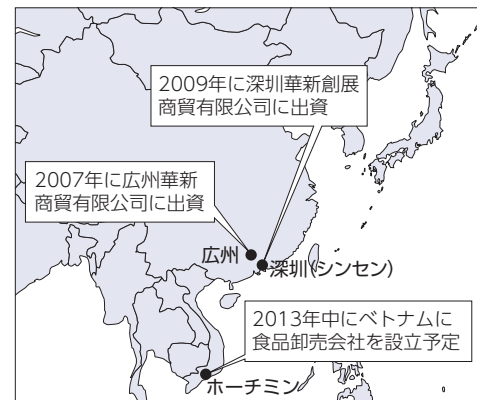
出資構成：加藤産業(株)65%  
住友商事(株)35%

事業内容：食品、飲料及び酒類、日用品、  
雑貨の卸売業等を行う海外子会  
社の統括・管理・運営

設立日：2012年10月23日

### ●ベトナムへの進出

新設した加藤SCアジアインベストメント(株)の傘下に、ベトナムでの食品卸売会社を2013年中に設立して事業を開始する予定です。ベトナムは着実に経済成長を続け、国民生活は安定的に向上しています。そして小売マーケットも、スーパーやショッピングセンター、コンビニエンスストアの店舗数が急速に拡大しており有望な市場と捉えています。今後は、同国に進出した海外スーパーや地元の大規模小売業者をターゲットに日本式卸売事業を展開してまいります。



## オリジナル商品のご紹介

### ●東日本大震災復興支援商品

当社は、2011年3月に発生した東日本大震災で被災された方々を支援するために復興支援商品「カンピーファミリーサイズジャム（シリーズ全5品）」を全国で発売しています。2011年6月からキャンペーン商品として製造・販売していましたが、今後も東日本大震災の記憶を風化させることなく被災地の支援を行いたいとの思いから、復興支援を継続することとしました。

一日も早い被災地の復興を願い、当商品をご購入いただいたお客さまの気持ちと義援金をお預かりし、被災地の窓口を通じてお届けします。これからも被災された皆さまのお役に立てるように全力で取り組んでまいります。



カンピーファミリーサイズジャム  
(1商品あたり、3円の義援金)  
2013年9月30日まで

復興支援商品の概要はホームページでご覧いただけます。  
<http://www.katosangyo.co.jp/news/000205.html>

## コーポレート・ガバナンス

### ●執行役員制度の導入

当社は、2012年12月より執行役員制度を導入いたしました。これにより、取締役会の活性化・機能の強化とともに、意思決定の迅速化及び経営の効率化を図り、環境の変化に即応できる経営体制を構築いたします。



当社は、創業以来「強い会社」を目指しています。そして今、「優しい会社」という新たなビジョンを加え、次の成長に向けて着実な一歩を歩んでいます。環境への配慮やISOへの取り組みなども含め、私たちは企業市民として、また食品中間流通業として、CSR(企業の社会的責任)活動の推進に努めます。私たちは、周囲の人々(ステークホルダー)にとって「強く優しい会社」でありたいと考えています。

● **環境・社会報告書**  
 ● 毎年1回、環境や社会への取り組みをまとめた「環境・社会報告書」を発行し、情報開示を行っています。  
 ● 詳細データ等は、ウェブサイトをご覧ください。  
<http://www.katosangyo.co.jp/csr/>



## 地球温暖化防止

当社は、地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出削減に向けて、全社で取り組んでいます。

### ● 照明設備の省エネ化

物流センターにてベース照明として使用している水銀灯を“高効率蛍光灯”や“メタルハライドランプ”に変更するとともに、事務所等で使用されているFLRタイプの蛍光灯をHfタイプに変更することで、CO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組めます。

### ● 車輦台数の削減

物流業務委託先と連携し、車輦台数の削減や車輦待機時間の短縮及び積載量の最適化等を図ることで、CO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組めます。

## 循環型社会推進

当社は、限りある資源を有効活用するために、Reduce(発生抑制)、Reuse(再利用)、Recycle(再生利用)の【3R】を推進しています。循環型社会の構築に少しでも貢献できるように日々努めています。

### ● 詰め替え用商品の開発・製造

「GREEN WOOD手造りジャム(530gシリーズ)」とその詰め替え用は、お客さまの声にお応えして作られた「環境配慮型商品」です。瓶容器は密閉保存瓶で再使用でき、詰め替えパックはごみの減量化を考えて開発されました。



### ● エコキャップ活動

当社は、ペットボトルのキャップを集め再資源化し、それにより得た売却益で発展途上国の子どもたちにワクチンを贈る「エコキャップ活動」を推進しています。

活動を開始した2010年2月から2012年9月末までに96,491個が集まり、約120人分のワクチンを寄付したことになります。



## グリーンウッド基金

当社の従業員が自主的にやっているクリーン活動(周辺地域のボランティア清掃)を、会社が支援する仕組みで賛助金を拠出し、積み立てる「KATO グリーンウッド基金」を設立し、幅広く社会に役立てています。



### <平成24年度>基金が支援した協会・団体

- 国連WFP協会
- 国際協力NGOセンター
- 日本ユニセフ協会
- フードバンク関西
- 児童虐待防止全国ネットワーク(オレンジリボン運動)
- 世界の子どもにワクチンを 日本委員会
- その他、当社の拠点付近の社会福祉法人

## 電気使用量の削減と蓄電池の導入

当社は、東日本大震災の影響による電気使用抑制に対応するため、「照明」「空調」「自動販売機」「家電製品」等の設備ごとに、省エネルギーに関する運用基準を再度明確にし、電気使用量の削減に取り組んでいます。また、停電が発生してもお客さまに商品をお届けするという食品卸売業としての社会的責任を果たすため、2013年度中に全国の拠点に蓄電池を導入する予定です。

## フードバンクとの取り組み

当社は、2008年から自社ブランド商品を対象として、賞味期限が1ヶ月以上有する商品や容器等が破損した商品など、品質に異常がないにもかかわらず廃棄処分をしていた商品を、特定非営利活動法人フードバンク関西を通じて非営利福祉団体や社会福祉施設に無償提供しています。



## 工場見学

当社の生産部門である「乾物部」[上郡工場]では、地域の皆さまへの感謝の気持ちを込めて、近隣の小学生の工場見学を受け入れています。さらに、社会学習の一環として、「ごみの分別」や「リサイクル」などに関する環境学習も併せて実施しています。学習を受けられた子供たちには、社会学習をされたことを示す「証明書」を発行し、お渡ししています。



# 連結財務・業績ハイライト

Consolidated Financial Highlights

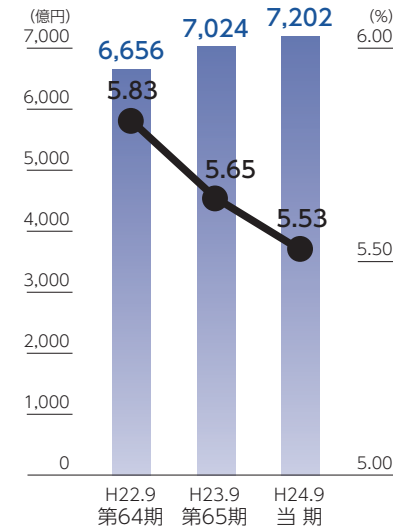
## 業績の推移

(単位:百万円)

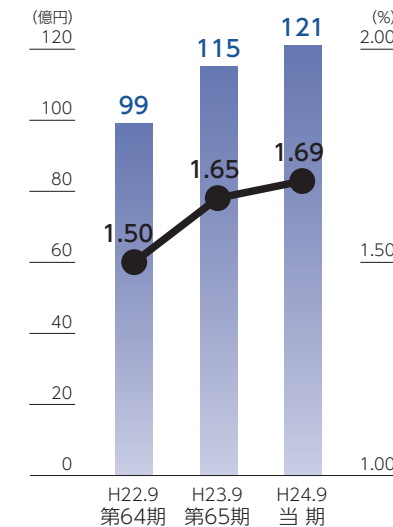
	64期 平成22年9月期	65期 平成23年9月期	当期 平成24年9月期
売上高	665,640	702,411	720,258
営業利益	9,316	10,664	11,084
経常利益	9,983	11,555	12,154
当期純利益	5,035	6,301	6,696
総資産	205,988	218,620	243,299
純資産	68,116	74,437	79,299
自己資本比率(%)	32.87	33.65	32.18
1株当たり当期純利益(円)	134.44	168.23	178.80
1株当たり純資産(円)	1,807.55	1,964.02	2,090.45
ROA (%)※1	4.96	5.44	5.26
ROE (%)※2	7.67	8.92	8.82

※1 ROA(総資産経常利益率) ※2 ROE(自己資本純利益率)

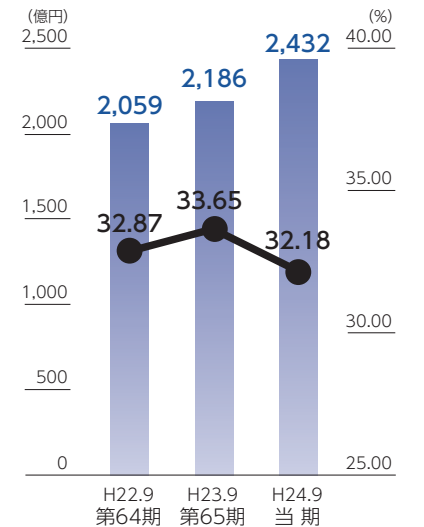
## 売上高 & 販売管理費率



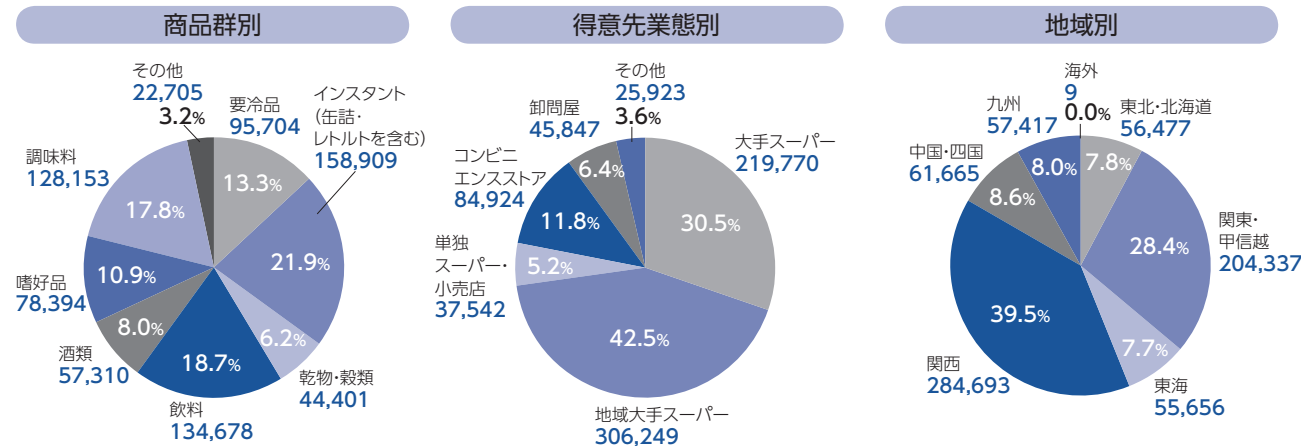
## 経常利益 & 経常利益率



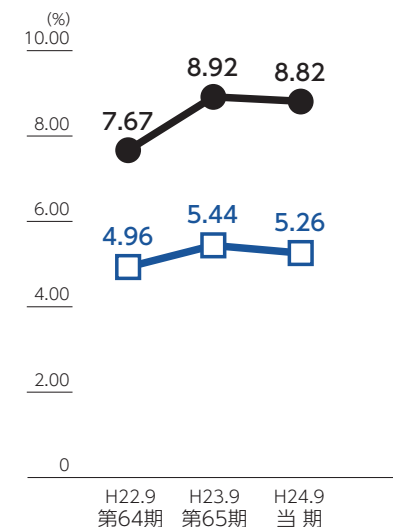
## 総資産 & 自己資本比率



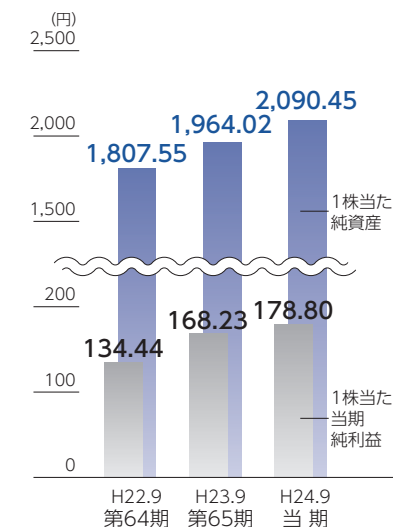
## 売上高構成 当期売上高 720,258 (単位:百万円)



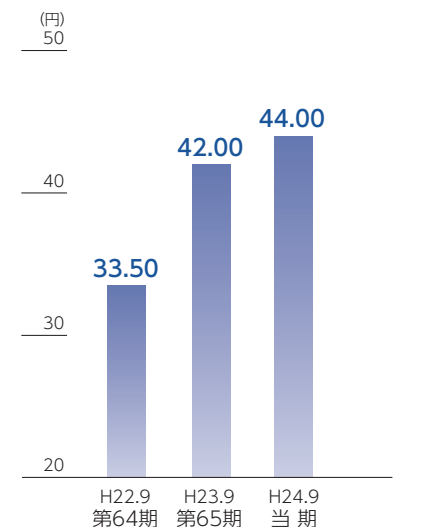
## ROA & ROE



## 1株当たり当期純利益 & 1株当たり純資産



## 1株当たり配当金



# 連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 平成24年9月30日現在	前連結会計年度 平成23年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	166,967	142,129
固定資産	76,331	76,491
有形固定資産	42,609	43,183
無形固定資産	3,812	3,726
投資その他の資産	29,909	29,582
資産合計	243,299	218,620
<b>負債の部</b>		
流動負債	155,559	135,656
固定負債	8,439	8,526
負債合計	163,999	144,183
<b>純資産の部</b>		
株主資本	76,249	71,276
資本金	5,934	5,934
資本剰余金	8,806	8,806
利益剰余金	62,371	57,397
自己株式	△ 861	△ 860
その他の包括利益累計額	2,045	2,283
その他有価証券評価差額金	2,044	2,283
繰延ヘッジ損益	0	△ 0
少数株主持分	1,004	877
純資産合計	79,299	74,437
負債純資産合計	243,299	218,620

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

### POINT 1 連結貸借対照表

#### ●流動資産・流動負債

売上債権及び仕入債務の増加により、流動資産は1,669億67百万円(前期比17.5%増)、流動負債は1,555億59百万円(前期比14.7%増)となりました。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 自平成23年10月1日 至平成24年9月30日	前連結会計年度 自平成22年10月1日 至平成23年9月30日
売上高	720,258	702,411
売上原価	669,370	652,083
売上総利益	50,887	50,328
販売費及び一般管理費	39,803	39,663
営業利益	11,084	10,664
営業外収益	1,422	1,209
営業外費用	352	317
経常利益	12,154	11,555
特別利益	64	157
特別損失	322	753
税金等調整前当期純利益	11,896	10,959
法人税、住民税及び事業税	4,921	4,624
法人税等調整額	131	△ 66
少数株主損益調整前当期純利益	6,843	6,400
少数株主利益	147	99
当期純利益	6,696	6,301

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

### POINT 2 連結損益計算書

#### ●当期純利益

前期に東日本大震災による損失4億26百万円を計上したこと等により、前期に比べ6.3%増加し66億96百万円となりました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 自平成23年10月1日 至平成24年9月30日	前連結会計年度 自平成22年10月1日 至平成23年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,860	11,824
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,243	△ 2,928
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,484	△ 1,882
現金及び現金同等物の増減額	4,132	7,013
現金及び現金同等物の期首残高	45,929	38,686
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	—	229
現金及び現金同等物の期末残高	50,062	45,929

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

## 連結株主資本等変動計算書

(自平成23年10月1日至平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	その他の包括利益 累計額合計		
平成23年10月1日残高	5,934	8,806	57,397	△ 860	71,276	2,283	△ 0	2,283	877	74,437
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 1,722		△ 1,722					△ 1,722
当期純利益			6,696		6,696					6,696
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△ 239	0	△ 238	127	△ 111
連結会計年度中の変動額合計	—	—	4,973	△ 0	4,973	△ 239	0	△ 238	127	4,861
平成24年9月30日残高	5,934	8,806	62,371	△ 861	76,249	2,044	0	2,045	1,004	79,299

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

# 個別財務諸表

Non-Consolidated Financial Statements

## 貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当事業年度 平成24年9月30日現在	前事業年度 平成23年9月30日現在
流動資産	140,973	122,350
固定資産	70,827	70,889
有形固定資産	37,490	38,040
無形固定資産	3,713	3,620
投資その他の資産	29,623	29,228
資産合計	211,800	193,240
流動負債	131,023	116,753
固定負債	6,788	6,758
負債合計	137,812	123,511
純資産合計	73,988	69,728
負債純資産合計	211,800	193,240

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

## 損益計算書

(単位:百万円)

科目	当事業年度 自平成23年10月1日 至平成24年9月30日	前事業年度 自平成22年10月1日 至平成23年9月30日
売上高	569,773	553,868
売上原価	531,442	516,086
売上総利益	38,330	37,782
販売費及び一般管理費	28,591	28,412
営業利益	9,739	9,370
経常利益	10,557	10,130
当期純利益	6,185	5,508

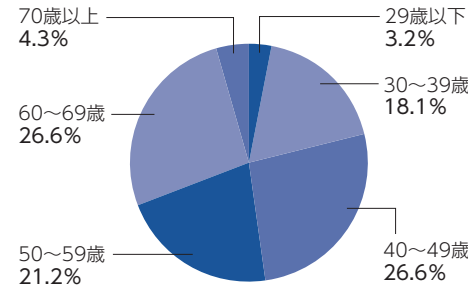
※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てております。

# 株主アンケート結果

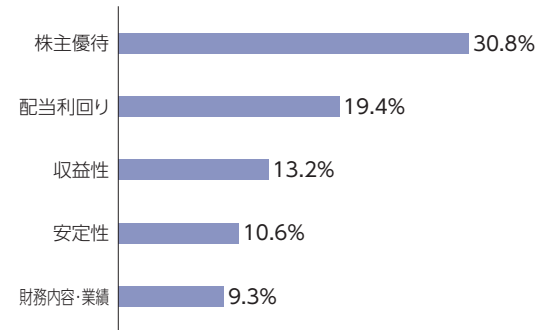
Results of Shareholder's Questionnaire

第66期第2四半期(中間)報告書で株主の皆さまにご協力をお願いしたアンケートにつきまして、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。  
94名の方からご回答をいただき、その中から集計結果の一部をご報告させていただきます。

## ●ご回答者の年代別構成比



## ●当社株式に対する方針決定の際の重視ポイント (複数回答 上位5位)



当社の株式に対しては、「株主優待」や「配当利回り」が特に重視されている結果となりました。今後も株主の皆さまのご期待にお応えできるよう、取り組んでまいります。

当社では、株主の皆さまの声をとお聞かせいただくため、アンケートを実施しています。詳しくは、当「第66期報告書」の裏表紙をご覧ください。

# 会社情報・株式情報

Corporate Data・Stock Information

## ●会社概要 (平成24年9月30日現在)

名称 加藤産業株式会社  
 設立 1947年(昭和22年)8月22日  
 本社 兵庫県西宮市松原町9番20号  
 事業内容 総合食品卸売業、カンピー製品製造発売元  
 資本金 59億3,405万円  
 従業員数 984名

## ●役員(取締役・監査役)及び執行役員 (平成24年12月21日現在)

取締役会長 加藤 武雄 常勤監査役 弥谷 恵太郎  
 代表取締役社長 加藤 和弥 常勤監査役 相良 広基  
 専務取締役 治居 義継 監査役 加藤 正一  
 常務取締役 小林 隆夫 監査役 山村 幸治  
 常務取締役 福島 和成  
 常務取締役 破尾 重美 執行役員 竹内 直記  
 取締役 鷹 龍和彦 執行役員 近藤 一彦  
 取締役 木村 敏弘 執行役員 神月 豊  
 取締役 上島 浩一 執行役員 太田 尚史  
 取締役 山中 謙一 執行役員 岡崎 忠勝

## ●グループ会社 (平成24年9月30日現在)

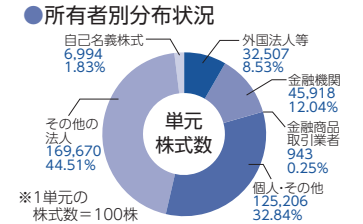
会社名	所在地	事業内容	資本金	議決権比率	決算期	売上高
◎ ケイ低温フーズ(株)	兵庫県伊丹市	低温食品卸売業	1,200	61.25%	H24.9	80,424
◎ ヤタニ酒販(株)	大阪市北区	酒類・食品卸売業	100	100.00%	H24.9	61,684
◎ 九州加藤(株)	宮崎県都城市	食品卸売業	100	100.00%	H24.9	6,286
◎ マンナ運輸(株)	京都府久世郡久御山町	運送業	98	56.53%	H24.9	4,104
◎ 和歌山産業(株)	山形県東根市	食品製造業	84	100.00%	H24.9	4,196
◎ 沖縄ロジスティクス(株)	沖縄県糸満市	物流業務請負業	50	100.00%	H24.9	13
◎ カトー菓子(株)	愛媛県松山市	菓子卸売業	50	95.00%	H24.9	5,345
◎ 加藤不動産(株)	兵庫県西宮市	損害保険代理店業	45	100.00%	H24.9	223
◎ カトーロジスティクス(株)	兵庫県西宮市	運送業	40	70.00%	H24.9	3,781
○ カトー酒販(株)	東京都江東区	酒類・食品卸売業	10	100.00%	H24.9	2,138
○ 兵庫興農(株)	兵庫県神戸市	食品製造業	45	99.64%	H24.9	1,196
○ カトー農産(株)	宮崎県小林市	農産物卸売業	65	92.31%	H24.9	739
○ (株)アドバンス・キッチン	兵庫県西宮市	飲食業	10	80.00%	H24.9	132
△ 三陽物産(株)	大阪市北区	酒類・食品卸売業	670	40.00%	H23.12	113,768
△ エス・エイ・エスジャパン(株)	東京都板橋区	酒類・食品卸売業	20	25.00%	H23.12	7,208

◎=連結子会社、○=持分法適用非連結子会社、△=持分法適用関連会社

※兵庫興農(株)の平成24年9月期は、11月決算から9月決算へ決算期を変更したことに伴い10ヶ月の変則決算であります。

## ●株式の状況 (平成24年9月30日現在)

●発行可能株式総数  
72,000,000株  
 ●発行済株式の総数  
38,153,115株  
 ●株主数  
9,771名  
 (内、単元株所有者数:9,465名)



## ●大株主(上位10名)

株主名	所有株式数(千株)	議決権比率
住友商事株式会社	3,270	8.73%
三井物産株式会社	3,153	8.42%
三菱商事株式会社	1,787	4.77%
加藤武雄	1,129	3.01%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,018	2.72%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	955	2.55%
加藤和弥	890	2.37%
加藤産業グループ会社従業員持株会	870	2.32%
キューピー株式会社	841	2.24%
ハウス食品株式会社	838	2.24%

(単位:百万円)